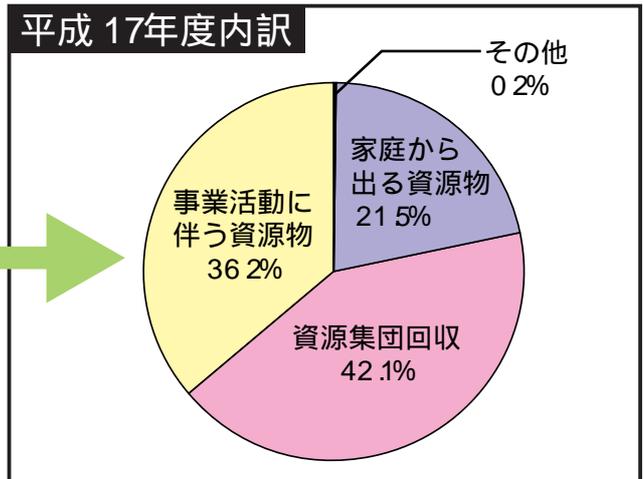
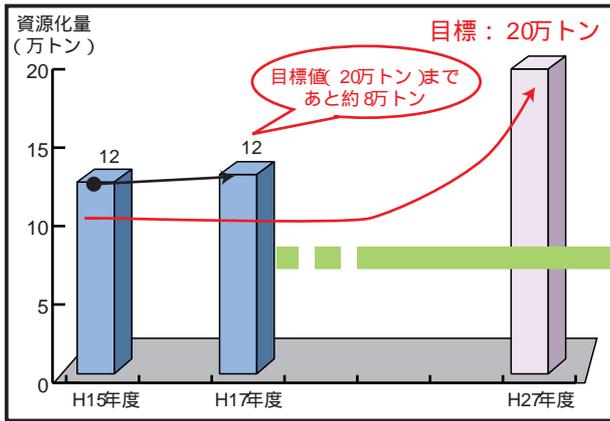




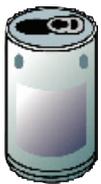
## 川崎市から出る資源物の量を知っていますか？

... 平成 17年度に市が集めた資源物の量は、**12万 3千トン**

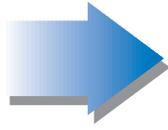


## 回収された資源物は何に生まれ変わるの？

### 川崎市が回収した...



空き缶  
7,200トン

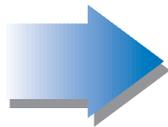


350m缶(20g)に換算すると約3億6千万本に相当し、新しいアルミ缶などの材料として使われています。市民一人当たりで換算すると年間約280本に相当します。

アルミ1トンをアルミ缶から製造した場合、節約できる電力量は約20,000キロワット。約66世帯分の電気を1ヶ月間まかなうことができます。(アルミ缶リサイクル協会の試算に基づく推計)

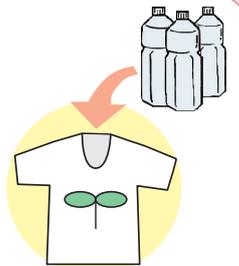


ペットボトル  
3,700トン



500mボトル(50g)に換算して約7,400万本のペットボトルが一年間に回収され、制服やシャツなどの繊維製品、洗剤用ボトル、文具類、コンテナなどの身近な製品に形を変えて再利用されています。

500mボトル約3本で、シャツ1着を作ることができます。



## 平成 19年 4月 1日 から川崎市のごみ収集日が変わります。

川崎市では、現在普通ごみを週4日、資源物を週1日収集していますが、平成19年4月1日からは、

普通ごみの収集を「月、水、金」の地区と「火、木、土」の地区に分けます。

資源物の日を現行の火曜～木曜から、月曜～土曜の6地区に分けます。

今までごみを収集していなかった休日も普通ごみや資源物の収集を行います。

### 新しいごみ収集体制を導入することで・・・

排出ごみ量の平準化を図り、効率化、効果的な収集を行います。

ミックスペーパーのモデル収集を一部の地域で行います。

ごみ収集のない日を利用して、資源ごみ(ミックスペーパー、その他プラスチック)の分別を検討し、全市拡大を目指します。